

富谷茶復活プロジェクトで茶摘み式



2022年5月17日に富谷市清水沢地区の茶畑で茶摘み式が行われた。

富谷市は江戸時代には、奥道中歌という歌集に詠まれた茶の産地だった。しかし、各地の産地が台頭するにつれて衰退し、1970（昭和45）年代に栽培が中止された。

市では、2017（平成29）年から富谷茶復活プロジェクトを進めており、富谷茶をもう一度特産品として復活させ、魅力発信と地域活性化を目指している。

茶摘み式には、仙台市の茶舗で（有）大竹園の大竹英次専務取締役（42）の指導のもと、シルバー人材センター会員ら約35人が茶摘みに参加。

参加した会員は「この活動は生産から製茶まで体験できる面白さがある」と楽しそうに話す。

新茶の摘み取りを行った後、焙炉を使用した製茶作業を行った。製茶した茶葉は、煎茶のほか、市内の菓子店などと協力し、加工品の試作に用いる予定だ。

茶畑の面積は500㎡で、今年はあと2回茶摘みを行い、合計で約30kgの収穫を予定している。

